

はじめに

高齢化の進展による人口構造の変化や医療の高度化など様々な要因により、医療費は増加を続け、国民皆保険を支える医療保険制度の持続可能性を高めることが重要なテーマとなっています。

医療費の状況を見ると、生活習慣と関連の強い疾病の医療費は高齢期に増加しやすいため、高齢化が進む本県では県全体の医療費の相当部分を占めており、若年期からの生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防が重要な課題となっています。

これらの課題に対し、県民の生活の質の維持・向上を図るとともに、良質かつ適切な医療を安心して受けられるよう医療保険制度を持続させていくために、今般、令和6年度から令和11年度の6年間を計画期間として「第4期奈良県医療費適正化計画」を策定しました。

この計画では「県民の健康の保持の推進」「医療の効率的な提供の推進」の2つを柱に掲げ、必要な取組の方向性と目標を定めています。

県では、この計画に基づき、生活習慣病対策をはじめとする施策に重点的に取り組み、効率的な医療提供体制を確保しつつ、県民負担の増加抑制を図ってまいります。

県民の皆さまには健診の受診や疾病の重症化予防など、自らの健康を自ら守る行動を進めていただき、保険者や医療関係者をはじめ関係の皆さまには、県民の健康づくりや効率的な医療提供の推進に、ご理解・ご協力をお願いします。